

来月十三日

夏物類改大女賣

並所於姫衣の在り居之收至極草履の隨ち私之世に後
沙羅衣の如く繁葉は具に極致有は合も無仍し尚
夏に於て新格外波大女賣は不並ふ所にお掛諸所
織元細吟仕地性宜敷相撰しゆ車大女賣之類は
度心願に付来月四月十二日海津目ありいとの大女賣は
同何年より右島より也標其駕り外に法えり
江に於て波衣少所用向し如く是に依備き希に程
所は是れより所方へ極に飛ぶ風種に極致守り奉願上

- 一本面編草履 代拾七文外 一 支面中形草履 代七文外
- 一川城東洋袴地 代拾八文外 一 松坂洋袴地 代七文外
- 一 漆綴洋肩衣地 代八文外 一 はし麻洋袴地 代六文外
- 一 漆綴子麻肩衣 代七文外 一 絹真田草履 代六文外
- 一 糸綴洋袴地 代八文外 一 大女賣白らり 代五文外

大女賣新法洋由地

志きてかや志れく

合

よりお平産

おけね 西

